

国語科単元構想シート

単元名 「物語を読んで心にジーンときた場面を家族に伝えよう」 全10時間
 教材名 「ちいちゃんのかげおくり (光村図書 3年下)」

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力) ◎…指導の重点	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] ((1)オ)	評価規準		
	○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。 [思考力、判断力、表現力等] (C(1)エ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 [思考力、判断力、表現力等] (C(1)オ) ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」	知識・技能 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	思考・判断・表現 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	主体的に学習に取り組む態度 進んで読書をし、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の感想や考えをもち、学習課題に沿って自分が選んだ心にジーンときた場面を伝えようとしている。

言語活動 戦争と平和の物語を読み、自分が心にジーンときた場面とその理由についてカードにまとめ、家族に伝える。	自ら進んで言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿 ・自分が心にジーンときた場面とその理由を、教科書のページをめくりながら場面と場面を結び付けて考え、理由となるところに線を引いている。 ・自分が心にジーンときた場面とその理由を、教科書のページをめくりながら、着目した叙述が相手に分かるように叙述を指さしながら相手に伝えている。 ・自分が心にジーンときた場面とその理由が家族に伝わるように、物語の文章を使って紹介カードを書いている。
---	--

単元の流れ ・学校司書と連携し、教室内に戦争と平和読書コーナーを設置し、読み聞かせや、読書の機会を設ける。 ① 指導者が作成した言語活動のモデルを提示しながら、指導者が心にジーンときた場面を児童に伝える。言語活動のモデルから学習の進め方を話し合い、学習計画を立てる。 ② 「ちいちゃんのかげおくり」を読み、物語のあらすじや登場人物を確かめる。初発の感想をノートに書く。 ③ 「ちいちゃんのかげおくり」の中で、心にジーンときた場面とその理由を見つけ、全文シートに線を引いたり、登場人物の気持ちを書き込んだりする。 ④ 「ちいちゃんのかげおくり」の中で心にジーンときた場面と、その理由について交流する。 ⑤ カードに心にジーンときた場面と、その理由をまとめる。学習後の感想を書く。 ★ ⑥～⑨自分の選んだ物語をカードにまとめるための学習計画を立て、学習を進める。 ⑩ まとめたカードを使って、物語を読んで心にジーンときた場面を友達に伝える。	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿 A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 教材文や並行読書材を読み、自分が心にジーンときた場面を見つけている。 友達との交流を通して友達が心にジーンときた場面について理解している。 情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】 物語を読んで心にジーンときた場面とその理由について、場面の移り変わりを基に考えをもつ。 物語を読んで心にジーンときた場面について場面の移り変わりを基に友達と交流することで、新しい考えに気付いている。 自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】 物語を読んで心にジーンときた場面とその理由を明確にし、カードに書く。 友達と交流を通して、物語を読んで心にジーンときた場面とその理由を明確にしている。	指導の手立て ★児童が主体となるための重点的な手立て ・戦争が起きた時代の物語を10冊程度選び、並行読書材として用意する。 ・単元の導入で、言語活動のモデルを示し、単元のゴールイメージを児童に伝えることで、目的意識を明確にする。 ★言語活動のモデルから「心にジーンとくるところ」「その理由」「感想」など、カードに書く内容が確認できるようにする。 ・教科書教材「ちいちゃんのかげおくり」の全文掲示をし、内容の大体を捉えられるようにする。 ・指導者による読み聞かせや、朝読書の時間を活用し、並行読書材に触れる機会を設ける。また、学級全員の読書履歴が分かるようにする。 ・並行読書材を読み、心にジーンときた場面に付箋を貼っておき、自分が心にジーンときた場面について蓄積する。 ★児童が、考えをもつタイミングでペア交流を行い、考えを深めることや、よりよい考えをもつことができるようにする。 ・学習計画を掲示し、児童が必要に応じて学習の見通しをもったり、振り返ったりすることができるようにする。 ★児童が交流を行う際のモデル動画を準備し、交流前に児童と確認したり、必要に応じて児童が見返したりすることができるようにする。
--	---	---